



議員になって3年
子どもたちが生きる
未来を守りたい
2100年時代を生きる我が子たち
へ、ツケを残さない責任ある政治
が必要です。戦争や差別がなく、
ジェンダー平等で、自然が豊か
で、すべてのひとが大切にされる
よう、これからも国分寺から声を
あげていきます。



HPIはこちら



note

国分寺市議会議員 鈴木ちひろの グリーンな国分寺News

2026年7月号 グリーンな国分寺ニュース vol.13

このニュースはグリーンな国分寺サポーターの手作りです。



出産を機に議会改革を
育兒と議員活動を両立
しやすくするため、委員
会へのオンライン出席
の導入を提案しています。
市内ではコロナ禍を背景
に、すでに約20の議会
で導入されています。
育兒に限らず、介護や
看護などの事情があつ
てもオンラインで委員
会に参加できる選択肢
があることは、多様な
ひとが参加できる議
会につながるのでは
ないでしょうか。

国分寺市議会ではじめて
産休を取得しました
国分寺市議会では産前
6週間、産後8週間の
産休が認められています
が、これまで任期中に
出産した議員はいませ
んでした。
産休中には、妊娠中や
子育て中の方と新た
につながることで、
待機児童問題やキャ
リア断絶などについて
の不安の声を聞きまし
た。子育てをしている
ひとが孤立すること
なく、楽しく安心し
て暮らせるまちを
目指し、これからも
みなさんの声を行政
へ届けていきます。

子育てひとりで がんばりすぎていませんか？ 6月 議会で届けた、当事者の声

録画配信はこちら



すべてのひとに産後ケアを

産後の体調不良や育兒の不安について相談したり、赤ちゃんを別室で預かってもらって休息できたりする重要な事業だが、出産したひとの約65%は利用登録もしていなかった。宿泊型(ショートステイ)は予約が取りづらく、受け入れ施設をさらに増やすよう要望した。

流産・死産を経験されたひとにも訪問型(アウトリーチ)を利用できることを一層周知するよう求めた。

一時預かりのベビーシッター制度を

子育ては24時間体制で、リフレッシュが必要だが、手軽に使える一時預かりの仕組みが不足している。ファミリー・サポート・センター事業は援助会員が不足し、保育園での一時預かりはニーズが高い0歳から2歳児の受入れ枠が少ない。

都内23区と多摩地域6市で実施しているベビーシッター事業を国分寺市でも始めるべきだ。

産後家庭向けの配食サービスを

日野市では、産後2か月まで1食500円で食事を配達してくれるサービスがある。同居家族の分も注文可能で、ご飯作りの負担が軽減される。国分寺市でも家事・育兒支援訪問事業でご飯作りを依頼できるが、産後すぐは家族以外の来客に抵抗がある場合もある。産後うつ
のリスクの高い出産直後、配達時に見守りもできるため、要望した。



私自身もさまざまな行政サポートを活用しながらはじめての子育てに奮闘しています

■鈴木ちひろ プロフィール

1996年生まれ。日本語教師として赴任した奄美大島で環境問題に関心を持つ。コロナ禍で失職したことをきっかけに、気候危機問題やジェンダー平等などを学ぶ。

国分寺のオーガニックカフェ「カフェスロー」で働きながら、2023年4月の市議選で最年少として2位当選。2026年に国分寺市議初産休を取得し、育兒と議員活動の両立に奮闘中。

■市議会：無会派(グリーンな国分寺)

会派に属せず、市民目線で声を届けます。

■連絡先・発行元:

国分寺市泉町2-2-18 国分寺市役所5階
グリーンな国分寺控室

chihirosuzuki311@gmail.com

ナフサ不足の今こそ 脱プラスチックへの転換を！ 使い捨てのプラスチックを減らしていこう

イラン情勢の悪化でプラスチックの原料となるナフサが不足し、一部のコンビニやスーパーが使い捨てプラスチックの提供の見直しを迫られている。プラ製品は便利な反面、大量消費・大量廃棄のライフスタイルの象徴的な存在でもある。容器や袋を個人の努力で減らすことには限界があるなか、ナフサ不足の今だからこそ、行政主導で脱プラスチックを目指していくべきだ。

大阪府ではマイ容器やマイボトルで食料品などを持ち帰ることができるお店を

検索できる「Osakaほかさんマップ」を展開している。プラフリーで買物ができるだけではなく、店側も容器コストの削減につながる取り組みとして、国分寺市でもはじめてほしいと求めた。

また、これまで求めてきた公共施設へのマイボトル用のウォーターサーバーの設置が進んでいる。ペットボトル削減や熱中症対策にも効果的であるため、公共施設へのさらなる拡充と併せて、駅や商業施設にも設置してほしい。



議会、はじめて傍聴してみました！

産後のサポートについて、市に言いたいことを全部代弁していただきました！10月からひかりプラザの親子ひろばで一時預かりがはじまるのは知りませんでした。ちひろさんの言う通り、産後ケアの申請のための事前面談はいらないのでは？ゆりかご面接をしたひとは全員、産後ケアが利用できるようになったらいいなと思いました。

日吉町在住 Yさん



初めての議会の傍聴で、良い機会になりました。私は日野市で配食サービスを利用していましたが、家事育児支援の訪問だと、他人が家に来ることのハードルを高く感じているので、配食サービスに助けられました。子どもが生まれてから、住んでいる場所によって政策がけっこう違っていることを知って、興味深く感じました。

日野市在住 Kさん



産後のちひろさんの実体験のお話、大きくなずきながら聴きました。私はベビーシッターとして働いていますが、近隣では一時預かりの対象の制度がある市が少ないため、都心まで行っています。利用者からは「月1回でもシッターさんが来てくれると思ったら頑張れます」という声も多く、国分寺市にベビーシッター制度ができれば、頼れるご家庭も増えると思います。

東元町在住 Sさん



低所得世帯向け エアコン設置に10万円の補助金

毎年、夏が長く、暑くなっています。熱中症死亡者の約9割が屋内で、エアコン未使用が大きな原因のひとつです。昨今の電気代の高騰も深刻な課題で、特に高齢者や低所得者の熱中症リスクが高まっています。低所得世帯を対象にエアコン購入費の助成が必要だと求め、2026年度から、事業がスタートしました。



詳細はこちら



鈴木ちひろのフオトレポート

議員になって4年目 若い世代の声を代弁してきました

議会では毎回 一般質問を行います



無会派(グリーンな国分寺)
鈴木ちひろ 議員

市政全般についてなんでも質問できる「一般質問」では、質問形式で政策の提案や要望を行います。

大学やイベントでの講演



政治や議員を身近に感じるきっかけになればうれしいです。

PFAS汚染の解決に向けて



PFAS除去実証実験の説明を聞きに、東京農工大学を訪問。

世田谷「ゆうカフェ」視察



若い女性のための居場所作りについて学びに行ってきました。

議会報告会を大切にしています



市民のみなさんと直接お話しできる対話の機会です。お子さん連れやはじめての方も多く、和やかな雰囲気。

あたたかい中学校給食スタート



議員全員で、配膳と試食を体験。食べる時間の短さが課題です。

障害者センターのオープンデーへ



私自身が重度訪問介護に携わっており、関心テーマのひとつです。ボッチャを初体験。